



まつかおか

千葉市立松ヶ丘小学校

あつという間に2月は逃げていく?!

校長 吉田 英明

もうすぐ節分です。暦の上では春が近づいているのですが、本当の寒さはこれからが本番。昨年の12月、そして年が明けた1月も比較的暖かな日が続いていたので、逆に寒さが身に沁みます。この2月を乗り切れば、春が待っていると自分に言い聞かせ、毎朝校門で挨拶をしています。

さて、冬休み明けの全校集会で、大谷翔平選手から寄贈されたグローブを紹介しました。テレビ放送でしたが、グローブを見せた時には、各教室から大きな歓声上がり、その声は放送室まで聞こえてきました。体育委員会でグローブの使い方を話し合い、各教室で体育や学級活動の時間に実際に手に付けてキャッチボールを行ったり、ベースボール型ゲームをしたりしています。野球の楽しさはもちろん、様々なスポーツに触れる喜び、チームワーク、体を動かすことの面白さなどを学校教育の場で体感させていきたいと思います。

1月23日(火)には千葉市球技大会が行われました。サッカーとバスケットボールに分かれて熱戦が繰り広げられました。バスケットボールの初戦は、緊張から声もあまり出ず、プレーもごちこちなかったのですがシュートがよく決まり勝つことができました。そして2戦目の大森小戦では劣勢から逆転し、勝利を収めることができました。サッカーは、初戦に引き分け、優勝するためには次戦で6点以上の得点を取らなければなりません。サッカーという種目で6点以上取ることが難しいことは皆さんもご存知でしょう。しかし、試合開始の笛とほぼ同時に先取点を取り、終わってみれば6点以上の差をつけて勝つことができました。なんと、松ヶ丘小学校はどちらも優勝することができました。穏やかだと思っていた6年生の子どもたちですが、バスケットでは逆転、サッカーでは優勝するために必要な得点を奪うという、その勝利への意気込みに感動しました。

今週から、全校を対象になわとび教室が開催されています。球技だけでなく、体を動かすことの楽しさを味わってほしいと思います。

『1月は行く(いく)、2月は逃げる(にげる)、3月は去る(さる)』と昔から言われています。確かに1月はあつという間に行ってしまいました。2月に逃げられないように、毎日を充実させていきたいと思います。引き続き、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をお願いします。